

日本医師会女性医師支援センター事業九州ブロック会議

日時：平成25年12月8日(日) 13:30～15:30

場所：鹿児島県医師会館 3階「中ホール1」

報告：男女共同参画委員会委員長 谷口 邦子

1. 開 会

2. 挨拶

鹿児島県医師会会長	池田 琢 哉
日本医師会副会長	松原 謙 二
日本医師会女性医師支援センター長	
日本医師会常任理事	小森 貴

3. 報告・協議事項

- 1) 日本医師会女性医師支援センター事業について
- 2) 各県における女性医師支援の活動報告等について
- 3) その他並びに日本医師会への要望、提言等について

4. 閉 会

女性医師支援センター事業九州ブロック会議は平成25年12月8日(日) 13:30より鹿児島県医師会館にて開催され、大分県からは私と安武千恵副委員長が出席した。

池田琢哉鹿児島県医師会長、松原謙二日本医師会副会長、小森貴日本医師会常任理事の挨拶の後、鹿島直子西日本センターコーディネーターから女性医師支援センター事業について報告があった。

1) 女性医師支援センター事業について

- ① 平成25年度登録状況は求職登録者数241名、求人登録施設数1,554施設、求人登録件数978件、就業実績は375件(就業成立358件、再研修紹介17件)であった。求職、求人とも東京、大阪、神奈川などが多く、診療科では求職は内科が多く、求人では内科、婦人科、外科、整形外科と続いている。求職者は30代40代が大部分で、小学生未満の子の有無は半々くらい、診療科は内科が半数近く、施設は診療所、病院が同数、勤務形態は非常勤・パートが大部分である。地域は東京が3分の1で関東圏が半数を占める。登録時は就業中の人が多く、離職期間は6カ月未満、1年以上と3年以上が同数、日医会員が3分の1くらいである。

- ② 平成25年度「医学生，研修医等をサポートするための会」開催状況は42件である。今年は大分県は大分大学学園祭と共催の分は連絡がうまく取れず開催できなかった。
- ③ 平成25年度「女性医師の勤務環境の整備に関する病院長，病院開設者・管理者への講習会」開催状況は14件で，12月8日に開催された大分県の分も含まれている。
- ④ 平成25年度の「『2020.30』推進懇話会」の開催は第1回が平成25年12月13日(金)で，大分県からは宮崎美樹先生，縄田智子先生が出席された。第2回が平成26年2月14日(金)である。
- ⑤ 平成25年度女性医師支援事業連絡協議会は平成26年2月21日(金)に開催される。
- ⑥ 「女性医師支援事業に関する調査」報告書は省略する。
 - (1) 託児サービスの「傷害保険」について
 - (2) 「医学生，研修医等をサポートするための会」について
 - (3) 「女性医師の勤務環境の整備に関する病院長，病院開設者・管理者への講習会」について

HPで公開された「女性医師の勤務環境の整備に関する『女性がいきいきと仕事を続けていくために』」のスライドをレジュメ，パワーポイントで活用してほしい。
 - (4) 女性医師等相談窓口について

女性医師のパンフレットが好評で2冊目である。

2) 各県の女性医師支援の活動報告について

- ① 福岡県

男性医師の数13,907名のうち女性が2,420名(17.4%)である。医師会，行政，大学の3者が連携を取りながら活動している。行政では「女性医師確保対策検討委員会」を設置している。連絡会議，管理者の会，医学生・研修医の会の他「きらきらプロジェクト」を継続している。病院訪問や，託児サービス，郡市医師会への呼びかけ，大学での講義，相談窓口，新しいものとして「保育コンシェルジェ」に取り組んでいる。
- ② 佐賀県

佐賀医学会での託児サービス，佐賀県と大学の連携，保育園を認可外にして県外者を受け入れている。修士・博士に対する「カササギサポートラボ」，サポートする会に女性のみならず，男性，開設者に参加してもらう。県と行政の連携もうまくいっている。
- ③ 長崎県

長崎県，長崎大学，長崎県医師会の連携による「あじさいプロジェクト」についての説明があった。「長崎大学病院メディカル・ワークライフバランスセンター」として，キャリアサポート，講演会・懇話会，アンケート調査・研究，保育サポーターなどを行っている。
- ④ 大分県

安武千恵副委員長が今年の活動として，昨年アンケートの集計結果の配布，医師不足のための協議会の開催，大学医学部女性医師支援担当者連絡会への出席，「男女共同参画フォーラムin大分」の開催について報告した。

- ⑤ 宮崎県
「女性医師相談窓口」の利用や、支援事業や研修会について説明があった。ユニークなのは県医師会・宮崎県・大学の「医学生向けセミナー・交流会」であった。各病院・診療科からのパネルや、3～5分間のプレゼンテーションをし、その後意見交換会をした。
- ⑥ 沖縄県
メーリングリストの活用、病院長等などとの懇談会、女性医師部会出張プチフォーラムなどである。休職中の医師のリクルートも試みている。
- ⑦ 鹿児島県
子育て支援研修会、医学生・研修医をサポートする会、保育園訪問を行っている。
- ⑧ 熊本県
あまり目立った活動はしていない。

3) 日本医師会への要望、提言について

特になかった。

4) 平成25年度女性医師支援事業連絡協議会における女性医師支援センター事業ブロック会議の報告について

九州ブロックからは、今回の発表の中から宮崎県の荒木早苗先生に決定した。(なお長崎県の伊藤昌子先生は日程の都合で「大学担当者会議」で発表していただくことになった。)

5) 平成26年度日本医師会女性医師支援センター九州ブロック会議の開催県について

コーディネーターのいる福岡と鹿児島だけでなくてもいいのではという意見が出て、今回は佐賀県にお願いすることになったが、正式な返事待ちである。